

特集 年金一人暮らし高齢者に終の棲家はあるのか

I 自分らしい最期を考える

FOR READERS

老後破綻の時代における「無届けホーム」という「光」

見守りとサポートがあれば、
自分らしい住まい方はもっと拡がる

社会福祉法人いきいき福祉会理事長

小川 泰子

8

超高齢多死社会で最期を迎える場所を考える

立川在宅ケアクリニック院長

荘司 輝昭

18

なぜ認可を受けずに
グループリビングを開くのか

特定非営利活動法人城いのき事務理事

井上 肇

30

「年功賃金と貯蓄による老後」モデルからの転換へ

都留文科大名誉教授 後藤 道夫

40

II 自立をサポートする住まい

自由・安心・つながりのある「21世紀の長屋」

サポートハウス和

54

ドヤをリノベーションした山谷のケア付き宿泊施設

山友 荘

63

自分たちが作った理想の住まいに
役所の「お墨付き」は不要

グループリビングえんの森

73

地域で暮らすための応援拠点

生活クラブ風の村 きなりの街すわだ

82

介護保険制度の枠外の経験を生かして
高齢者の新たな寄宿舎を

グループリビングCOCO結いのき・花沢

93

III 終活用実践ノート

一人暮らし高齢者が
自分らしい「最期」を迎えるために

ワーカーズ・コレクティブ生活クラブFPOの会

羽場 真美
藤井 智子

102

介護施設の基礎知識
いざという時、あわてないために

認定NPO法人市民シンクタンク
ひとまち社事務局長

松浦 恵理子

113

施設選びは「看取り」に対する姿勢を見る
— 幸せに死ぬために必要なこと —

作家 作曲家 たくき よしみつ

122

連載

韓国語翻訳家の日々 子育てはつづくよ 第4回

韓国語翻訳家ライター 斎藤 真理子

134

「ママ虫」と罵られた女性が書いたベストセラー小説
仲みの列島 日本を語り伝える 第8回

ライター 室田 元美

143

読谷、摩文仁で考えた、沖縄戦のこと。